

「包括的性教育」って、なあに？ 大切なことなので、もっと普及を

私は、性教育とは、ジェンダー平等、自己決定能力などを含む人権尊重を基本とした教育だと考えてきましたが、近年、性や生殖に関する教育にとどまらず、こうした考え方も含めて「包括的性教育」と呼ばれ、世界ではスタンダードです。6.28に2つの企画に関わりました。

＊みどり岡山／みんなの自治講座（下の写真）



講師は、澁谷奈津美さん（出張専門かたつむり助産院院長）。教員などの養成課程で、性教育を学ぶ講義がないそうです。この教育を導入しているアジア諸国調査では、望まない妊娠や性感染症が減っているとのことでした。

＊DV防止サポートシステムをつなぐ会岡山／総会記念企画

講師は、東海林美由紀さん（助産師）。この教育を通して、生命の大切さを伝え、幸せに生きる力を育てられます。子どもも含めて1万7千人以上の方に伝えてられました。包括的性教育が授業の一つになってほしいとのこと。

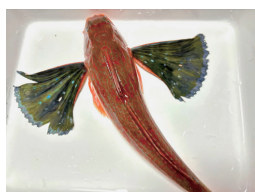


嬉しいプレゼント／洛陽の子どもからの絵

4.22～25、岡山市洛陽市友好都市議員連盟訪問団の一員として、中国・洛陽市を訪問。牡丹祭月間に洛陽市からの招聘です。交流のある洛陽市外国語初級中学で日本語を学んでいる子どもから、ご自身が描いた素敵な絵をいただきました。宝物です。



編集後記 ★「ホウボウ」というお魚。初めてです。胸ビレが大きく彩りが鮮やか。その付け根に足のようなものがあり、海底を這いまわるそうです。お汁に。美味しかったです。



のぞみ日誌から

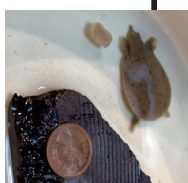
輝け！日本国憲法集会（5.3）

毎年参加をしています。今年は、上脇博之さん（神戸学院大学教員。写真）による「裏金事件と裏金をなくす政治改革」について。わかりやすくお話を聞きました。政治とカネの問題を追及し続け、自民党派閥の政治資金パーティの裏金事件では、捜査のきっかけを作った方です。



すっぽんの子ども（5.19）

友人宅にいくと、小さな亀ではなく、すっぽんの子どもを見せてください。私は、「かわいい」を連発していました。私たちの身近に野生のすっぽんがいるのですね。びっくり。



大塚愛さんと「県政・市政おはなし会」（5.22）

議会ごとに行っている「おはなし会」を吉備公民館で行い、多くのご意見をいただきました。住民の声の施策への反映をという市の姿勢を問うものもありました。私たちの活動のベースです。ご参加ください。



戦後80年 6.29岡山市民平和祭（6.28）

JR岡山駅地下ひろばで行われた「戦後80年 6.29岡山市民平和祭 - 岡山空襲写真・パネル展 & 広島の高校生・市民が描いた原爆の絵」に伺いました。石田米子さんが疎開中の10歳のときに描かれた絵日記「疎開生活絵巻」の展示もありました。新しい展示もあり、多くの皆さんがみておられて良かったです。



京山公民館避難所体験・地域防災講座（6.29）

指定避難所になっている京山公民館で、参加者が、避難者（高齢者、障がい者、外国人などの想定もあり）や受入者になって、避難所体験をするものです。パッキング講座、防災トイレ組立体験などのワークショップや京山公民館災害時備蓄品の展示などがありました。避難訓練は広がってほしいです。



岡山市議会議員

会派：みらいえ

No.73

2025年6月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2025年7月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail: info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



ていねいに語り合い、熟議の民主主義を 暑いですね。お体を大切に

＊女性参议院議員は定数の29.4%に＊

7月に参议院選挙があり、事実上の政権選択選挙となりました。全国の投票率（選挙区）は58.51%と15年ぶりの50台後半、岡山市は55.02%（前回比+8.7%）でした。

私が毎回気になるのは、女性当選者数です。今回は42人で、参院選では過去最多。非改選を含めた女性参议院議員数は最多の73人で、定数の29.4%です。少数派が30%以上になると、少数派の存在が組織文化や意思決定に影響すると言われます。もう少し。なお、現在の岡山市議会の女性議員割合は定数比で13%です。低いです。

女性の候補者割合は29.1%。政府目標は、国政選挙で2025年までに35%ですが、届きませんでした。当事者意識をもつ女性議員が増えてほしいです。



＊岡山市消防教育訓練センターにある「水難救助訓練施設」に、津島学区の皆さんと行きました（7.8）。「風水害体験エリア」は5月開設。水圧で自動車や住宅ドアが開かない体験、流水歩行や風雨体験ができます。水災害から身を守ることを学べます（086-262-4917）。

＊「排除」より「共生」を＊

「人間にファーストもセカンドもありません」。この度、初当選をしたラサール石井さんが第一声で語った言葉です。今回の選挙では、外国人の排除を訴える政党が多くて、頭がクラクラしました。民主主義のベースである選挙のなかで主張されていることに、悔しさと怒りを感じます。

とりわけ外国にルーツをもつ子どもの気持ちを思うと辛いです。この4月に施行された「岡山市子どもの権利に関する条例」には、「…、人種、国籍、…を理由としたあらゆる差別を受けないこと」と明記してあります。

私は外国人友人たちにも支えられて、ともに生きてきました。多文化共生社会・人権教育をさらに進めたいです。

おにき・のぞみ



6 月議会 一般質問から

質問項目

1. 次期総合計画
2. 公立夜間中学
3. PFAS

6 月議会は、高齢者・障がい者・就学前施設・こども食堂などの事業者食材費高騰分の一部支援の補正予算などが出され、全会一致で可決されました。★この議会では、3 月に発生した南区山林火災についての質問が相次ぎました。消防局は、今回の災害を検証して、今後の大規模災害に備えるための基礎資料を作成し、岡山県全体にフィードバックをすることです。★5 月臨時議会では、任期後半の委員会が決められました。私は、常任委員会「保健福祉・協働委員会」と「にぎわいの拠点づくり調査特別委員会」です。

1. 次期総合計画

長期構想に、ESD・SDGs、気候変動を盛り込む

岡山市では、これから 10 年間の市政の柱となる次期総合計画策定への、基本的な考え方（案）が示されました。

Q 引き続き、ESD をベースとした SDGs 目標達成への視点をいれるべきではないでしょうか。

政策局長：ESD・SDGs については、他都市をリードしてきたところであり、長期構想に位置付ける時代潮流や市の特性に記載してまいりたいと考えている。

Q 大規模災害の要因等ともなっている気候変動への対応は待ったなしです。「将来都市像」体系図のなかに、環境・気候変動を盛り込むべきではないでしょうか。

政策局長：計画の大前提であり、時代潮流や市の特性に記載する。

Q 自らの意見や行動が市政に結びつく実感が大切です。住民自治の視点も盛り込むべきでは。

政策局長：住民自治の視点をもち作成する。

第七次総合計画全体コンセプト体系図（岡山市 HP より）



2. 公立夜間中学

誰一人取り残さない安心と多様性のある教育にむけて

4 月に岡山市立岡山後楽館中学校夜間学級が開設されました。



岡山後楽館中学校夜間学級にはホームページがあります（HP より）

Q 高齢で体の動きが緩慢な方、家庭の事情で小・中学校に通えなかった方など入学動機・目的は多様です。学校が開設されて 2 カ月が経ち、取り組みの現状や課題について教えてください。

教育長：個別支援が必要な場面もあり、複数の教員が授業に入るなど、必要に応じて支援ができる体制をとっている。授業のなかでは、生徒同士で多様な意見交換が行われ、相互の理解が深まってきている。一方、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援には、さらに研究が必要である。

在籍生徒のうち、来られていない生徒がいる。来られている中にも、困難を抱

えている方もいるので、個別に聞き取りながら一緒に考え、できるだけ夜間中学に通っていただけるよう検討をしていく。

Q 教職員の今後の研修については。
教育長：教職員のニーズに沿った研修。先進地視察や全国夜間中学校研究会に参加をし、多様な生徒個々の状況に応じた学習支援や生徒指導の在り方、3 年間の指導計画の工夫などについて研究をする。

Q 社会経験の豊富な方が多い生徒に、どのような姿勢で対応を行っていますか。
教育長：教師として学習指導は行うが、人生経験が豊富な方々に敬意を持って接していくことも大事かと思っている。

3. PFAS

市長：安心して水を飲んでいただきたい

Q 岡山市は、国の暫定指針値を超過している井戸水を飲用せざるを得ない世帯に対して、飲用暴露を防ぐために、＊上水道整備事業費用の補助制度を策定し開始することとし、＊上水道が敷設されるまで、飲用のためにペットボトルを支給しています。その内容はどのようなのですか。

環境局長：最長で 1 年分のペットボトル飲料水を提供。また、上水道整備における排水管敷設に係る工事負担金の 3/4、1 戸当たり最大で 60 万円を上限に補助する。

Q 事業実施に至った市長の思いは。
市長：PFAS は、専門家の間で健康影響が懸念されている。我々は、市民の皆さんに安全・安心な暮らしを確保するのが重要な役割だと認識している。



行政が希望者に血液検査を行ったり、その補助を行っている自治体がありますが、岡山市は、血液検査のみで健康影響を把握することは困難とされている等の理由で、実施予定はありません。私なら将来のためにも血液検査をしたいです。

奈義町に「少子化対策」の視察に（6.3） ～ 印象に残ったものから ～

＊最大の課題は「人口減少」

奈義町の最大の課題は「人口減少」。これ以上（現在 5,472 人）人口が減ると、病院やスーパーがなくなるなど町の維持が難しくなる。その対策の一つとしての少子化対策。安心して子育てができるよう若い人を支え、そのことで、高齢者の生活も支えたいとのことです。

行政のできることはしっかりしたい。長年の取り組みの結果として、高水準の合計特殊出生率をキープ（2019 年 2.95 を記録）しています。

＊地域で子育て「なぎチャイルドホーム」

「つどいの広場」という、誰でも、いつでも、これる。子育ての悩みなどの相談ができ、地域の情報が集まる場所を柱に、一時保育や交流活動を行っています。小中高校生の第三の居場所としての取り組みもスタートしています。

＊政策に意見を反映させる「こども議会」

小学 6 年生全員が議員となり、こどもの意見を政策化しています。自分の提案が政策に生かされる実感を通して、町に愛着をもってほしいとのことです。



高成壯磨議員、國友さよさんと視察しました。奥正親町長のていねいなご挨拶をいただきました。



本当は子育ては楽しいはず、と作られた「なぎチャイルドホーム」

「奈義町作成動画です → 『子育て応援の町奈義町』～町ぐるみで安心の子育て～
<https://youtu.be/1dW4z2-8E8E?si=w8hd7WdGluwMvl-K>

もっと充実させたい「公立図書館」「学校図書館」～ 参加した集まりから ～

図書館は子どもが育つ礎になり、どんな年代の方もより豊かに暮らすことができる町づくりにつながります。

＊図書館フォーラム「みんなで語ろう！わたしたちの図書館」（5.25）

本山雅一さん（山陽学園大学教員）から「岡山市の図書館の今とこれから」について。ミニレポートもありました。大切なお話から 2 点。主催は実行委員会です。
・岡山市民は 1 人当たり貸出冊数は 5.4 冊、政令市平均は 3.9 冊。全国設置市区町村は 4.95 冊。数値の低い政令市を目標にすべきではない。
・個人貸出冊数。市内オンライン化公民館 6 館（合計）は、伊島図書館 1 館にさえ及ばない。費用対効果は大きい地区館が効果的である。

＊学校図書館カフェ（6.22）

岡山市では全小中学校にクロムブックが入って 5 年目になります。学校司書の皆さんたちは、リアル読書・図書館の活用の一方便、デジタルシチズンシップ教育への取り組みもしておられます。

政田小学校では、「調べ学習応援サイト」を作った、適切な情報が得られる応援をし、その方法が身につくようにしておられます。

中山中学校では、「ファクトチェック」の視点を養う取り組みをしています。学校司書の非正規化が進んでいます。子どもの育成に向け、正規化が必要です。



「学校図書館を考える会・岡山」主催。学校司書と市民の皆さんの参加で、毎回楽しみにしています。

